

# 本社を名古屋に移転

## 三協紙業、河村市長が視察

フィルム用各種巻き芯の製造販売を手掛ける三協紙業はこのほど、本社を創業の地である大阪市から名古屋市中区のJ・伊藤ビル3階に移転し、本格的に業務を始めた。



河村市長(左)に製品を説明する佐方社長(中央) 18日に河村たかし市長が同社を表敬訪問。佐方将義社長が事業概要や製品などを説明した。

た。河村市長は「本社移転はありがたい。いろいろと

応援する」と話した。同社は昨年9月1日、市の産業立地促進補助金を活用して本社を移転。市によると、05年度以降、同助成制度を使って本社を移転した関西企業は初めてという。同社は1939年設立。

電子部品や食品包装用フィルムに使用される替え芯の製造販売を手掛け、国内に10の営業所と工場を持つ。2018年2月期の売上高は32億円。従業員数は160人。東海4県での売上高比率が4割強を占める。